

「高度計装アライアンスグループ」設立、プラント系技術普及やビジネス推進、アクトスフィア

プラントの運転・操業には計測制御をはじめとした計装技術や生産管理技術、さらにはコンピューティングやネットワーク技術などが駆使されている。しかし、これらの技術は近年高度化してきている反面、実際にその機能が効果的かつ最適に活用されて機能を発揮しているのか、あるいはプラント特性に合わせた有効な適応がなされているのか、といった懸念が現場から指摘され始めている。

こうした状況を受けて今年6月、プラント系関連技術を対象に製品やサービスを含めた新たなビジネス推進と、有

用な技術の普及や掘り起こしを目的とした「高度計装アライアンスグループ」が設立された。設立したのは、計測制御分野のコンサルティングやイベント企画、計装エンジニアリングなどを業務としたアクトスフィア（本社：東京都日野市、代表取締役：澤山信輝）。同社の澤山氏によると、ユーザ／ベンダ企業や技術推進団体、大学・研究期間などから広く会員を募集し、横断的な連携を強化して実利的な立場で活動を推進していくとしている。すでに参加を検討している企業が出ているという。

なお、高度計装アライアンスグループの活動概要について、主催するアクトスフィアのHPから発表内容の一部を以下に紹介する。

また、高度計装アライアンスグループへの参加要項などの問い合わせ先は次の通り。

【問い合わせ先】
アクトスフィア ㈱
電話 (042) 511-8160
FAX (042) 587-3817
E-mail : sawayama@actsphere.co.jp
URL : <http://www.actsphere.co.jp>

【高度計装アライアンスグループ概要・活動の領域】（アクトスフィア社HPより）

●はじめに

プラントの周辺ではビジネス環境が劇的に変化している。加速する海外への生産移転、その背景にあるコスト競争の激化、熟練技術者の減少による技術伝承の困難さの増大、それに伴う事故の発生等、プラントを取り巻く環境は決して楽観を許すことばかりではない。

●活動の領域

プラントを支えている技術群はフィールド技術をベースとしてその水平方向のあらゆる技術、さらに時間軸方向のメンテナンス技術など、様々なものがある。また、その中には信頼性の高い確立されたアナログ技術もあれば最先端のデジタル技術など、多層的な技術が入り混じってやや戸惑い気味に次世代の展開を窺っている。

一方で垂直方向にはフィールドにおける制御技術から経営層の経営支援ツールに至るまでのピラミッドを構成する情報マネジメントの世界がある。またその途中に水

のような環境の中でシビアな競争に生き残るには今までの活動の延長線上にはないブレークスルーが必要である。新技術が常に要求されることは論を待たないが、既存の技術の中にもそれらをさらに有効活用することによりもたらされるメリットも決して小さくないはずである。ただそれにはそれをドライブする業界横断的な強力なイニシアティブが必要である。

平、垂直方向の広がりを持ったアセットマネジメントシステムや安全計装の技術などがある。

このようなマトリックスを構成した技術の投影が現在のプラントの形である。

繰り返しになるが、これらの技術の浸透度合いには濃淡があり、有用な技術も必ずしも十分に有効活用されているわけではない。これらすべての領域にわたり、あらゆる活動を支援することが「高度計装アライアンスグループ」の設立趣旨である。

そのような観点から「高度計装アライアンスグループ」というプラント機能活性化のための仕組みづくりを行った。会員の数が増えるほど利用できる技術やサービスのリソースが増え、その活動の効果は大きく社会に貢献するはずである。元気がないといわれる日本の復活の一つの切り口としたい。

（以下は会則より抜粋）

□活動（会則第4条）

本会は第2条の目的を達成するため、学究的な活動を超え、より実利的な立場で次の活動を行う。

(1) 会員の中で特定の目的関係を持つ企業・団体の組み合わせによるアライアンスを通じたビジネス化の推進

(2) 上記に関連した高度計装・プラント関連技術の推進および啓蒙活動（講習会、講演会、調査研究等）

(3) 前号のほか、本会の目的達成に必要な事項